

2013年JPS展関西展 表彰式・審査講評・記念講演会

第1部 会場 / 京都市国際交流会館 日時 / 7月25日(金) 13:00～14:30

表彰式・公募作品審査講評 審査員長 / 公益社団法人 日本写真家協会会長 **田沼武能**



銀賞 藤井のぼる(徳島)「瀬戸内沿岸2013」3枚組



奨励賞 三好学(奈良)
「人生酒場」3枚組



京都市国際交流会館
京都市左京区粟田口鳥居町 2-1
TEL.075-752-3010(代)



銅賞
木村正司(滋賀)
「春夏秋冬」
4枚組



奨励賞
増田哲子(福岡)「自由時間」単



奨励賞
竹田義之(兵庫)「雨の通学路」4枚組

第2部 会場 / 京都市国際交流会館 日時 / 7月25日(金) 15:00～16:30

記念講演会 宇井眞紀子 「アイヌ民族に寄り添って ～取材22年目を迎えて～」

写真を撮ることは、被写体(自分とは違う他者)との関係性を問うこと。だから、その場を共有することを大切にしたい。傍らに寄り添いながら伴走者のように記録していきたく思っている。目の前の光景の背後にある幾層にも重なった人間の営み(歴史)に興味がある。しかし、その歴史的事実から発想される「良い」作品に仕上げるのではなく、被写体に向き合ったその時々自身の心の波紋に従い、シャッターを切ることを大切にしている。ひとつこだわりを挙げるとすれば、どんな過酷な現実の中からも希望の瞬間を拾い上げたい、ということだ。とても難しいことだが、写真の前に居ることが辛くならず、でも、目を背けてはいけぬ社会的な問題が、見た人の心にそっとでもしっかりとひっかかってくるような写真、それが私の理想の写真だ。アイヌの世界観では、小さな子どもが誤ってコップの水をこぼしてしまった時などに次のように言う。「あ～、そこに水を飲みたい人(カムイ)がいたんだね～」そんなおおらかな心で、かつ鮮やかな感性を持って、無二の瞬間を切り取っていきたく。



宇井眞紀子 プロフィール HP <http://www.makikoui.com/>

1960年千葉県生まれ。83年武蔵野美術大学卒業。85年日本写真芸術専門学校卒業。写真家・樋口健二氏に師事。同時に雑誌を中心にフリーランスで活動を始める。1992年からアイヌ民族の取材を続けている。写真集に『アイヌときどき日本人』(社会評論社)、『アイヌ、風の肖像』(新泉社)、『眠る線路』(ワイズ出版)など。2004年、第4回さがみはら写真新人奨励賞受賞。2012年、第28回東川賞特別作家賞受賞。2013年、ロンドン・ナショナルジオグラフィックで個展開催。公益社団法人日本写真家協会会員。日本ビジュアル・ジャーナリスト協会会員。日本写真芸術専門学校講師。武蔵野美術大学非常勤講師。



宇井真紀子

2014.7.25 [fri]

京都市国際交流会館イベントホール

2014年JPS展関西展

表彰式・審査講評・記念講演会

第1部 表彰式・公募作品審査講評

審査員長 / 公益社団法人 日本写真家協会会長 **田沼武能**

第2部 記念講演会

宇井真紀子 「アイヌ民族に寄り添って
～取材22年目を迎えて～」